

*** 記載例 1 (収支計画書)**

2013年度 安全事業助成

当該事業に必要な項目・費目を、具体的に記載してください。
(項目・記載区分に示した内容は、参考として記載したものです。)

※「収支計画書」に助成対象外経費として計上した費目については、当事務局の承認なく助成対象経費に変更することは認められませんので、ご注意ください。

別添 1

収支計画書

1 収支計画

(1) 収入の部

項目	金額 (円)	積算内訳
日工組社会安全財団助成金	A	
補助金・寄付金等 その他の収入	B	
会員等参加費収入	C	
団体の自己負担	D	
収入総額	E	

A欄とF欄の数字が、同一金額になるように計上してください。

(2) 支出の部

経費区分	金額 (円)	積算内訳
助成対象経費	諸謝金	
	旅費	
	消耗品費	
	印刷製本費	
	原稿料	
	通信運搬費	
	借料・損料	
	会議費	
	雑役務費	
	助成対象経費合計	F
助成対象外経費		
	助成対象外経費合計	G
活動経費総額	H	

具体的に記載してください。
《例》講師謝金〇〇〇〇円×〇名

G欄の数字は、B欄、C欄、D欄の合計と同一金額になります。

H欄の数字は、E欄と同一金額になります。

(注) (2) 支出の部「助成対象経費合計」は、当財団助成金額と同一になるように計上してください。

2 経費の説明

積算内容等について、書き切れない事項を補足説明してください。